



日耳鼻医会

FAXニュース

平成25年8月5日発行 第204号

～第38回 臨床家フォーラム案内特集号～

「東京FORUM 2013 in SHINAGAWA」

へのお誘い

第38回 臨床家フォーラム実行委員長

日本耳鼻咽喉科医会副理事長 中澤 宏

日本耳鼻咽喉科医会は法人化してからすでに11年を経過し、特定非営利活動法人として地域医療、地域福祉活動をはじめとする諸事業を展開して参りました。その中の一つの事業として開業医家を中心とした学術研鑽と実地研修を目的とした臨床家フォーラムも第38回を数え、日本耳鼻咽喉科医会本部が担当する事になりました。

「東京FORUM 2013 in SHINAGAWA」と銘打ち、「フォーラムの飛躍 医会の発展を目指して」をスローガンに掲げ品川のkokyohallで開催することになりました。主に東京の役員・委員そして顧問、また東京都耳鼻咽喉科医会の先生方にも協力して頂き、1年余り前から準備を進めてまいりました。

初日(9月15日・日曜日)の分科会では、日常診療、在宅診療そして最先端医療と幅広いテーマでのご講演を予定しております。

二日目(9月16日・月・祝日)の全体集会では日本医師会常任理事の石井正三先生に「東日本大震災対応 福島原発事故下でのJMAT活動」について、東京女子医科大学呼吸器内科教授玉置淳先生に「アレルギー性鼻炎合併喘息の病態と治療」について、そして最後に作家の林真理子様のご講演を予定しております。

今回初めての試みとして嚙下内視鏡検査実習をおこないます。また職員聴力検査講習会、医療機器展示そして書籍の展示販売も例年通り行います。

このほかプレコングレスゴルフ(小金井カントリー倶楽部)、エクスカージョンとしてスカイツリーの観光などをご用意致しております。また親睦会のアトラクションとしてジャズ演奏をお楽しみ頂く予定です。

一人でも多くの先生方、ご家族、及び職員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

期日:9月15日(日)・16日(月・祝)

会場:kokyohall(品川駅近く)

分科会:9月15日(日)午後13:00～

小児の睡眠時呼吸障害 ・山梨大小児科 杉山剛先生

外来・在宅における嚙下障害診察 ・部坂・西山先生

耳鼻咽喉科領域の daVinci ロボット支援手術

・東京医科大耳鼻科 伊藤博之先生

繰り返すめまい発作にどう対応するのか?

具体的に考えます ・厚生年金病院 石井正則先生

実習1 聴力検査 13:00～ 14:35～

実習2 嚙下内視鏡検査 15:30～(部坂・西山先生)

懇親会 17:30～

全体集会講演:9月16日(月・祝)9:00～

日本医師会の東日本大震災対応 - 福島原発事故下でのJMAT活動 -

・日医常任理事 石井正三先生

アレルギー性鼻炎合併喘息の病態と治療

・東京女子医科大 玉置淳先生

アスクレピオスの心を書いて ・作家 林 真理子 様

エクスカージョン

A.東京スカイツリー観光 9月15日 9:30～13:30

B.ゴルフ 小金井カントリー倶楽部 9月15・16日

(詳細は案内冊子をご覧ください)

☆ 嚙下内視鏡検査講習会のご案内 ☆

今回初めての試みとして嚙下内視鏡検査講習会を行います。分科会(9月15日(日))の講演2として「外来・在宅における嚙下障害診察」について、部坂弘彦・西山耕一郎両先生に講演して頂き、講演終了後講習会を行います。ご希望の先生は、別紙に都道府県名、所属、氏名、電話番号を明記の上、FAXで事務局宛お申し込み下さい。FAX:03-5524-5228 申込締切日 9月6日(木)

保険証を確認していても協会けんぽのレセプトが返戻された事例

国会の厚生労働委員会(2013年5月21日)で共産党の田村智子参議院議員が「資格確認の事務処理に問題あり」として事務処理について国の対応について質問。

厚労省の木倉敬之厚労省保険局長が(1)実際に保険証の回収がされていないのに、誤って回収済みとされていることはあり得る。保険局としても今後きちんと指導、監督する。(2)協会けんぽで回収済みとしていても、医療機関から保険証を確認しているとの申し出があった場合は、機械的な対応をせずに、調査した上で資格の有無については

判定すると改善を約束した。

(1)(2)により、今後、医療機関で保険証を確認している場合、レセプト返戻に応じなくてもよく、協会けんぽからの問い合わせ文書は「返戻に応じない」と回答すればよいことも明らかになった。保険証を確認していることが前提なので、確認漏れがないように留意されたい。

東京保険医協会FAX ニュース2013 年7月22日号より

風疹の抗体検査に公費補助を

日医・小森常任理事 日本医師会で感染症・予防接種を担当する小森貴常任理事は7月12日、専門誌の取材に応じ、ワクチン不足が懸念される風疹対策について「医療機関が行う場合も含めて、抗体検査を公費負担にしてほしい。検査キットが枯渇する可能性もあるので、不足が予測された場合にはしっかり薬事承認を行って緊急輸入してほしい」と述べ、健康被害が起こらない形でワクチンが効率的に接種できるように行政側に支援を求めるとした。

小森常任理事は、今年の流行は不測の事態ではなく予想されていたとして、適切な対応を取ってこなかった行政に対して憤りを見せた。一方で、自治体の公費援助が積極的に打ち出されたことや、厚生労働省がメーカーに増産を強く働き掛け、メーカーも土日を問わずフル体制で増産していることを高く評価した。(MEDIFAX digest7/17)

gsk GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと Do more, feel better, live longer

定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

アラミスト® 点鼻液27.5µg 56噴霧用

Allermist® 27.5µg 56metered Nasal Spray フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) グラクソ・スミスクライン株式会社 グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先
TEL:0120-561-007(9:00～18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル FAX:0120-561-047(24時間受付) 2010.5

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228
HP: http://www.jenti.or.jp E-mail jimuj@jenti.or.jp